



シンギュラリティは 2018年に……



代表取締役社長
井口宗久

皆様、新年明けましておめでとうございます。
昨年は国内、海外ともに景況は比較的悪くなく、日経平均株価も21年ぶりの2万2千円台を突破いたしました。一方で技術進歩に目を向けるとAIの発展がきわめて著しく、タイトルにあるシンギュラリティ（人口知能が人間の脳を超える）という言葉についてこの一年間で非常に多く耳にするようになりました。一般には2045年頃と言われていますが、既に到達しているにとらえる脳科学者の方もいますし、ソフトバンクの孫正義さんは2018年に起きると話しています。いずれにせよ2018年も様々な物事が目まぐるしく変化し、また工業界でのIT技術の活用、AIなどの技術革新も想像以上にスピードを増すのではと考えております。

当社ではこの数年間でこれまで予想もしなかった出来事が発生し、あるいは徐々に進行するであろうと考えていたことが想定以上に一気に進むこともありました。2018年も想定外の様々なことが発生することかもしれません。

また、今年10月には当社は70周年を迎えますが、その節目を前にしてチャレンジすべきことが盛り沢山にあります。予想しない出来事もきっと

発生するであろう中で、全部が滞りなく出来るか、正直に言えば分かりませんが、商社として新しい商材、新しいお客様を創出し続けることは命題です。70年間の歴史の上に新しい歴史を築けるように2018年も全社一丸で必死の活動をしてまいります。

■ 2017年9月期の決算について

(2017年9月期決算概要)

- ・売上高：47億53百万（前期比3%増）
- ・営業利益：1億35百万（32%増）
- ・経常利益：1億67百万円（16%増）

前期につきましては、期中よりお客様全体の生産が増加したこと、工作機械関係、ロボットをはじめとするFA関係の設備受注ができたことにより増収増益で着地をすることができました。

■ 2018年度の取組について

計画値としては、売上高は3%増の49億、利益について2%ほどの利益率での着地を目指してお

ります。全般的な足元の環境は悪くない状況ですが、将来の市場変化に備えて下記の重点取組を全社で進めてまいります。

ロボット、自動化機器の 更なる拡販

ロボットについて、当社は数十年前から販売はしていますが、もっとロボット強い商社になることを目指して専門部隊の「ロボット推進室」を2016年に立ち上げ、この一年間の活動成果としては、ロボット、自動化関連機器の全社の売上は約1.5倍に拡大いたしました。

非常に大型案件を納入できた一方でお客様には多大なご指導、ご支援をいただいております改めて厚く御礼を申し上げます。

今後の展開といたしましては、商社として経験、ネットワークを活かしてロボットに限らず当社が取引する様々な機器メーカーさんと一緒に幅広く自動化の取組を進めてまいります。

また別項で詳細をご案内いたしますが、**1月17日から東京ビッグサイトで開催されるロボット関連の展示会「ロボテックス」に出展いたします。**

ロボット、FA関連市場は間違いなく今後も急拡大し、商社がコーディネーターとして介在する意義がある商材だと思いますので、更なる飛躍を目指して取り組んでいきます。

中国製鋳造部品の 展開本格化

当社の中国製品の取り扱いには工具関係からスタートし、現在は鋳造部品に展開しております。鋳造部品はこれまでは建機メーカーさん向けへの供給が中心でしたが、もっと鋳造部品を強化しようと考え、昨年に機械要素技術展に出展し、その成果として半導体装置関連、自動車部品のお客様から案件をいただき進めております。ご提案できるメー

カーも当初は限られていましたが、現地のリサーチ、提携により材種、サイズ、業種によって最適選択ができるようになってきております。ご関心があるお客様には是非中国メーカーをご視察いただき採用検討に向けて一緒に取組をさせていただきたいと考えています。

新規開拓、 対応エリアの拡大

新規開拓は企業としてやって当然ですが、これまで全くできておらず3年ほど前から全社をあげて機械工具も部品も水処理もとにかく新規開拓をきちんとやろうということで進めており、前期は34社のお客様と新たに取引を開始することができました。今期についても新規のお客様からの売上比率5%を目標に活動をしてまいります。

そして、対応エリアの拡大については、来年年明け以降になりますが、**関西サテライトを開設いたします。**これは元々神奈川エリアにあった複数のお客様が関西への生産を移転する動きを受けて、引き続き当社から商品を安定供給するために開設することにいたしました。最初は最小限の体制でスタートいたしますが、徐々に拡大していければ良いと考えております。一方で関西の地場商社がひしめく中で、当社のどんな製品、どんなやり方が関西エリアで本当に通じるのか、慎重に検討しながら活動を進めて参ります。



ロボテックスの京ニブスイメージ

第23回京二会報告

例年12月第一週の金曜日に開催させていただいております京二会を、昨年も12月1日に新宿ハイアットリージェンシー東京BIF「天平」にて開催させていただきました。

今回も多数のお客様及び仕入先様にご参加いただきました。

会は弊社代表取締役社長井口宗久より、弊社概況及び重点取り組みについてご説明させていただきました。その後、弊社ロボット推進室室長寺内宏より、11月29日より開催しておりました「2017国際ロボット展」速報と、ロボット推進室開設から1年間の活動実績として株式会社はなまる様のシステム事例報告をさせていただきました。

その後、本会のメインイベントである基調講演として今回は、三菱東京UFJリサーチ&コンサルティング株式会社コンサルティング事業本部業務ICT室マネージャー吉本正様による「IoTの概要とモノづくり現場における活用事例」のテーマでご講演いただきました。

講演の内容についてはIoTでとは何か？ からIoTで出来ること、拡大の背景、市場動向などをお

話いただきました。IoTとは皆様も昔から活用している技術であり、スマートフォンの市場拡大により機器からデータを取得し活用しようというニーズの高まりが昨今のIoTの市場拡大に繋がっているとの事でした。IoTの重要な視点としては、製品「モノ」がインターネットと繋がることにより、新たなサービス「コト」として新たな価値を創造していくことが重要であるということ、つまり製品を売る時代からサービスを売る時代へと変化していることが大切だということを学ばせていただきました。

講演後は、皆様からの貴重なご意見、ご質問、ご感想を賜り、会場を「飛鳥」に移し、日本工業出版株式会社機械と工具編集長小山宏様に乾杯のご発声を頂き、ご歓談いただいた後、中締めのご挨拶を東洋クラッチ株式会社第二営業部部長矢口昌之様に頂き、第23回京二会を皆様のご協力により閉会することが出来ました。

開発部 社長付きマネージャー

藤野大介



中国プロジェクトの 過去と将来

2017年はアメリカ、中国経済の回復に牽引され、また日本2020年オリンピック開催など好要素にも影響され、設備投資牽引と受注増加による機械工具商社にとっては良い1年となった。中国プロジェクトにとってはチャレンジ的な1年だった。

直需お客様向け売上が前年度より2割アップ、代理店向けは横ばい。鑄造部品販売が1割アップとトータル的に1割売上アップの結果となった。株州工具の標準超硬製品に加え、焼入れ鋼材、鑄物高速加工用CBN工具、ダイヤモンドフライス工具をメインで製造している北京ワールドダイヤモンド工具、特殊工具を製造する上海華昇、上海ゾロン合わせて4社メーカーが主力となる。品質と加工精度の大幅アップ、自社開発製品の好調な発売に加え、大手自動車部品メーカーへの量産供給も始まる。特に上海華昇と北京ワールドダイヤの自社開発能力が重要、日本メーカーと違う発想で高速、高効率、長寿命加工できる工具の開発も成功した。今までは日本製の既存工具をコストで切替えるのが主要販売ターゲットだったが、自社開発工具による新規ライン、開発工具への参加、工具寿命改

善などお客様にさらなる工具価値を提供することによるレベルアップができたことが大変良い経験だった。数社業界大手お客様のご採用により信頼性の向上も証明できた。

2017年6月に東京要素展に初めて出展。中国鑄造メーカー3社を初めて日本のお客様に紹介できた。まだ大きな成果をあげていないが、中国のステンレス、鑄鉄に大変ご興味のある数社のお客様と取引開始し、テスト段階に入っている。正式採用までまだ時間かかるがお客様、メーカーと共に困難を乗り越え量産採用に向けて慎重に活動中。

2018年度工具、既存部品売上10%アップを確保、新規部品事業の創出に努める。営業所に所属する既存お客様へのフォロー、訪問や新製品プレゼン、より迅速に対応することを心がける。粗、仕上げ、部品素材をお客様に提供できる中国プロジェクトの新面貌を構築していく。



上海華昇製エンドミル



上海華昇本社



生産現場

中国工具の国際化に向けて ——北米、メキシコ訪問記



中国プロジェクト 執行役員 **新 潔**



メキシコシティの景観

今まで日本国内で中国工具の販売しか考えがなかったが、海外の大手商社と連携し、日系お客様の海外工場へのアプローチを開始した。京二の上海法人が数社主力メーカーの製品を集め、輸出作業、お客様対応している。2017年に2回アメリカ、メキシコの日系お客様工場へ訪問し、引き合いとテスト品注文までいただいている。

アメリカの日系工場ではローカルスタッフがほとんど、仕事もアメリカ流。中国製品の良さと今までの日本での実績を説明したら見積依頼をすぐ頂いた。「コストメリットがあればテストしましょう」との返事で自分の経験では異例の速さだった。しかもテスト本数にも関わらず通常の使用本数で正式注文を頂き、テストせず数千ドルの注文をいきなりして大丈夫？ と余計に心配している私とメーカーの担当者宛に、確実にこの数量でテストするとはっきり言われた。お客様の信頼を裏切らないように納期管理、品質管理を万全な製品を供給、お客様のコスト

ダウンを実現するこ



上海京二法人入居ビル



とは我々の最大な誠意表現だ。

メキシコは広大な土地と安価な人件費を武器に、日本やアメリカからの投資をよんでいる。従ってメキシコのお客様の工具ニーズも大きい。中国工具が、アメリカや日本からの輸入品と同じ土台に立つ時、価格、納期対加工効果でも大きな競争力を発揮した。見積提供後まとまった数量の注文を頂いた。中国のお客様と同じ特徴があり、使えるかどうか、使ってから工具の加工精度、加工寿命を総合的に判断する仕事方法がわかってきた。図面承認がほとんど行われず、かえってメーカーと商社がプレッシャーを感じている。加工条件、加工ワークの特徴や加工機械など日本と同じように全部確認した上での設計、材料選択となる。

「郷に入りては郷に従え」。日本と中国でできた既存経験をベースに、この国の方の感想、ご希望、ご心配するポイントを聞き入れ、メーカーに忠実に伝え、次に何をしなければならないかとはっきりした行動パターンをメーカーに伝え、最善な工具とサービスを提供することを心がけます。距離は非常に遠いが、今後も定期的にお客様訪問を実現、テスト結果や感想を地道に伺った上で品質向上を狙う。

“2017 国際ロボット展” ご報告



ロボット推進室 室長
寺内 宏

新年明けましておめでとうございます。ロボット推進室も設立から1年が過ぎました。今まで経験していなかった業界からも多くのお話を頂戴することが出来ました。当社にとっても私にとっても貴重な体験が出来たことはこの上ない財産になったとこの場をお借りして皆様に感謝申し上げます。今年もより多くのお客様とロボットについて語れることを楽しみに活動をしてまいります。

さて、昨年は“2017国際ロボット展”が開催され13万人のご来場者を迎えました。産業用ロボット分野においては業界に変化が見られます。数年前までは速度、可搬重量重視となっていた開発合戦が完全に収束し“安全”“やさしい”“簡単”“省スペース”などのソフトな言葉による展示が主流となっています。既に自動車はEV化、自動運転技術が中心となりハード(メカ)やソフトに求められるのは“安全”“やさしい”“簡単”がキーワードとなりました。

そこで登場したのが“協働ロボット”の各社開発投入合戦です。実はロボット各社は協働ロボットの市場規模に関しては懐疑的でした。隣にロボットを置いて出来ることが完全に見えていなかったのです。かく言う私も同じ思いを持っていました。「スピードは遅いし重いものは持てないし金額も高い」「パートで十分だ」。しかしながら昨今状況は変わりました。

「ワーカが集まらない」「人手が足りない」などの社会現象から協働ロボットへの関心は一気に高まってきました。市場は大手企業から中小零細企業へと広がっています。価格の問題は各社競争の激化により下がると予想します。安全柵やセンサーが不要な分もシステム価格に反映されることでしょう。一定の条件で自治体補助もあります。ソフト(ティーチング)も簡単になって外部への委託が減ります。システムとして従来ロボットと同費用程度になれば導入のメリットは十分にあると試算します。

“2017国際ロボット展”では各社協働ロボットが出揃いました。後発ではありましたが不二越も今春よりCZ-10の販売を開始いたします。

参考資料として簡単ですが各社協働ロボットをご紹介します。各業界市場により特徴を持たせたロボットとなっています。既にロボット展で数社が協働ロボットを台車搭載し移動可能な状態(独立)で使えるものとしています。

今回のロボット展ではAI、IoTがキーワードになることと予想されます。そのときは既に協働ロボットは自立ロボットへと変貌していることと期待しています。



CZ-10によるクレーンゲーム



CZ-10へのダイレクトティーチング



[協働ロボット一覧]

2017年11月28日現在

1	株不二越	協働ロボ「CZ-10」	垂直多関節型	10kg	不二越初の協働ロボ ダイレクトティーチ シリーズ化 安全仕様
2	ファナック株	協働ロボ「CR-15 IA」	垂直多関節型	15kg	シリーズ 15kgを投入 おなじみのグリーンロボ シリーズ最大 35kg
3	株安川電機	協働ロボ「MOTOMAN-HC10」	垂直多関節型	10kg	新製品 ダイレクトティーチ 双腕ロボ「NOTOMAN-SDA10」
4	KUKAロボティクスジャパン株	人協働型ロボ「LBR IIWa」	垂直多関節型	7.14kg	7軸ロボ 制御はJAVA言語 玄人好みのロボット
5	ABB株	協働ロボ「YuMi」	多関節双腕型	0.5kg	双腕ロボ スマホで教授 今後「川重」との提携
6	THKインテックス株	人型双腕ロボ「NEXTAGE」	多関節双腕型	1.5kg	双腕ロボ カメラ搭載
7	川崎重工業株式会社	双腕スカラ「duAro」デュアロ	スカラ双腕型	2kg×2	スカラ型双腕ロボ スマホティーチング 安価
8	ユニバーサルロボット	協働ロボ「UR シリーズ」	垂直多関節型	3～10kg	協働ロボでもっともメジャーで草分け的存在 中国企業が買収
9	リシंकロボテックス（住重）	協働ロボ「ソーヤー」	垂直多関節型	4kg	精密作業向け協働ロボ 7軸 カメラ、モニタ
10	ライフロボテックス株	ピッキングロボ「CORO」	多関節型	2kg	独創的な動き ひじ無しで安全 ベンチャーロボとしては有名
11	デンソーウエーブ	「DOBOT」	—	0.5kg	2017 ロボット展で発表
12	エプソン販売株	自立双腕型	—	—	人の道具がそのまま使える



第2回 “ロボデックス” ロボット開発活用展のご案内

京二は2018年1月17日(水)～19日(金)東京ビッグサイトで開催の**第2回“ロボデックス”**に出展します。一昨年から開催された同展示会はロボットの可能性を追い求めた最新技術の祭典となります。協働ロボット、共同協業ロボット、介助補助ロボット、画像処理、AIなど幅広い分野で活躍するロボットたちを見ることが出来ます。**人と機械と社会が劇的な関係へと変化する一瞬を感じてください。**

我が社はナチ協働ロボット“CZ-10”を展示のほかロボット導入をお考えの企業様のご相談をお受けいたします。ロボットを実際に触れてお客様が動かす体験も出来ます。是非ご来場ください。

入場券ご招待状は営業担当より配布いたします。お手元にない場合は担当までご連絡ください。当日皆様方とお会いできることを楽しみに会場にてお待ちしております。

ポンプ・ブロワのオーバーホール致します!

～丁寧・確実・迅速で安心な修理～

開発部産業装置グループでは、水処理機器を中心とした産業機械の営業販売を行っておりますが、新規の機器販売だけではなく機器の据付工事やメンテナンスについても請負っております。近年、新規設備計画が減少する中、既設品の更新・メンテナンスの仕事が増加しており、今年度産業装置グループではメンテナンスにおいて部品販売だけでなく工事も含めた形での受注を増やしていくことを一つの目標としております。

据付・撤去・メンテナンスの工事につきましては古くからお付き合いのある藤原機械工業株式会社様

にご協力いただいております。同社は、新明和工業(株)のサービス指定店に認定されており、確かな技術と豊富な経験と充実した工場設備を持っておりお客様からの信頼も非常に高い会社です。水中ポンプをはじめ陸上ポンプ・ブロワ他様々な製品のメンテナンスや配管工事・電気工事等、官庁・民間を問わず様々な業界の仕事に実績があります。

産業装置グループでは、今後も藤原機械工業株式会社様と協働して幅広く仕事を進めていきたいと思っております。

〔修理可能メーカー〕 新明和工業・荏原製作所・鶴見製作所・アンレット・タクミナ他、ポンプ・ブロワ・攪拌機・メーカー多数

〔納期〕 1ヶ月～

産業装置グループ マネージャー

齋藤 英二



工場外観



試験設備



工場内



ポンプ修理



ブロワ修理

北京ワールドダイヤモンド工具 CBN工具の成功事例のご紹介

近年好評を博している「北京ワールドダイヤモンド工具」のCBN工具について、成功事例を紹介します。

CBN工具による歯車部品加工の事例で、被削材は断続部の有る焼き入れ鋼の外径旋削仕上げ加工をしています。詳細は現行品とテスト品を比較した切削条件シートをご参照下さい。

CBN材種は、高硬度材の連続と軽断続加工に適合したPNH1020とし、豊富なホーニング形状規格の中から、メーカー推奨のチャンファー幅0.1mm、角度15°に切れ刃先端部に5ミクロンのアールホーニングを施しています。

結果は、現行品が40個の寿命に対し、北京ワールド品は80個の寿命で2倍の加工数を達成しました。しかも、切削速度を130m/minから150m/minとして加工能率も向上する事が出来ました。

コストメリットと共に磨耗状態、仕上げ面粗さも優れており、正式採用され現在も継続受注となっています。

工具技術顧問

新井 辰夫

項目		テスト品	現行品	被削材	硬さ
使用 工具	メーカー	北京ワールドダイヤ	X社	焼入れ鋼	HRc55 ~ 60
	型番 (ホーニング形状)	TNGA160408-3N S0101505 SLST22S	TNGA160404-6N	使用機械 NC 旋盤	
	材種	PNH1020	—	使用工具 CBN チップ	
切削 条件	回転速度 N (min-1)	80-230	50-230	歯車部品 加工ワーク	
	切削速度 V (m/min)	150	130		
	送り f (mm/rev)	0.10	0.10		
	切込み ae (mm)	0.17	0.17		
	クーラント	ドライ加工	ドライ加工		
結果	工具寿命	加工数80個	加工数40個		
	現行品に対し2倍の加工個数を達成、コストメリットから採用された。仕上面粗度Ra1.6に対し、1.37達成、磨耗状態も良好であった。(右写真参照)				

2018
年

抱負 部門長の



平成30年私の抱負



上席執行役員
大坂道明

新年明けましておめでとうございます。昨年は、計画比及び前年比共クリアすることができたことは、これも、皆様方のお陰と感謝するしだいです。有難うございました。

さて、アベノミックスと言うのか、今の景気は戦後2番目に長い「いざなぎ景気回復」57ヶ月を超え、「戦後最長の景気回復」73ヶ月に向かいつつも、従来と異なる実感なき景気回復でありました。又、一方パリ協定の国連気候変動の枠組み条約の動きの中で、自動車のEV化・火力発電の抑制化に伴う再生エネルギー（太陽光、風力等）へのシフト等大きく産業構造が変化しようとしています。そうした状況下、京二自体は益々、強固な基盤造りが急務と考えています。

本年は環境の変化を捉まえて、新たな分野への進出・案件引出・開発・取込への一助となればと思ひ、邁進していきたいと考えております。今年も、そうした基盤造りに邁進いたしますので、本年も引き続きご指導、ご支援賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

2018年の抱負



東北営業所 所長
会田宏幸

新年明けましておめでとうございます。皆様方には新たな気持ちで2018年を迎えられた事と思ひます。

今年、弊社は創立70周年を迎えます。東北営業所も設立35年を迎え節目の年と考えております。今期当社は第3次中期計画の初年度となります。中期計画の取り組みは3度目ですが、過去を振り返り将来に向けての展望を計画に落とし込む事は、何度経験しても悩ましい作業です。

京二の核である基幹商材を核として維持しつつも、新しい商材を伸ばしながら、より多くのお取引先様仕入様にご満足頂けますよう精一杯活動してまいります。

本年も変わらぬお引き立てのほど、よろしくお願い申し上げます。

謹賀新年



執行役員 社長室長
砂田京子

あけましておめでとうございます。

昨年は、豪雨や季節外れの台風などによります風水害が全国で発生するなど、自然災害の多い年ではなかったかと思ひます。

さて、今年の干支は「戌」です。「戌」と言えば戌の日の安産祈願を思い浮かべますが、今年の秋は京二に取りましても待ちに待った新社屋が完成（誕生）する予定です。無事新社屋が完成しますことを祈りつつ、昨年に増して皆さんの協力を頂き、社内の調整機能としての総務として頑張っていきたいと思ひますので、今年もご支援をよろしくお願い致します。

2018年の抱負

千葉営業所 所長
市川忠能



新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお祈りします。

昨年の千葉営業所は、下期より人員が減り苦労した面も多くありましたが、全体としては良い成果を上げる事が出来ました。昨年は新規開拓活動・部品取組みに注力すると目標を掲げ、結果としては大きな成果とまではいきませんでした、手応えは感じております。今年もこの流れを止めずに活動を継続して成果に繋げていきたいと思っております。自社の強みを活かし、積極的な提案活動に一層注力していきたいと思っております。本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお祈り申し上げます。

新年のごあいさつ

南関東営業所 所長
佐藤真広



新年明けましておめでとうございます。昨今の好景気で製造業の皆様は生産体制の見直しに悩まれていることだと思います。

この業界の人手不足も深刻になってまいりました。今後は省人化とフレキシブルな自動化が生産性向上の鍵になると考えております。お客様の現場を見て、現状の生産ラインを自動化したくても手作業で対応している点が多く、改善したくても良い条件が出せないといった状況を何度か体験いたしました。弊社としましては、昨年よりロボット推進室を立上げ、製造ラインの自動化に向けて様々な提案をしておりますので、所内に展開して担当エリアのお客様に良い提案ができるよう心掛けてまいります。

また、昨年は神奈川地域の顧客移転に伴い、準備に追われる激動の年でもありました。

お蔭様で今年より、関西サテライトを神戸に開設することになりました。今年は関西エリアも合わせて、お客様のご要望に合うよう勤めていく所存です。

新年のごあいさつ

北関東営業所 所長
今泉秀美



新年明けましておめでとうございます。

われわれを取り巻く環境は不透明で変化や動きが速い状態になっていることで益々厳しくなるであろうことに不安を感じています。ではこの不安を取り除く為に『なにをどうすべきか』が大きな課題になります。中長期計画の視点からと今期方針を所内で何度も確認しながら変化をチャンスへと繁栄できる活動をしていきたいと考えています。

ドラッガーの言葉で「すでに変化は起こっている。／誰もそれを機会とするどころか単なる事実としてさえ受け入れようとしない」とか「すでに起こった未来を明らかにし備えることは可能である」など意識し実践していきたいと思っております。

具体的にはIoTを活用したオートメーション化を全面的に提案していきたいと思っております。

まずは皆様今年好スタートを切るためにも開発プロジェクト製品や困っている事その他において全力で対応させていただきます。そして求められ頼られる営業所にしていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお祈り申し上げます。

謹賀新年

開発部
社長付マネージャー
藤野大介



新年明けましておめでとうございます。皆様のおかげで無事に新しい年を迎えることが出来ました。

開発部では商品別に担当があり販売活動をしています、水処理・環境装置をメインにした産業装置課、工作機械を中心にした精機グループ、中国製品の販売を行なっている中国プロジェクトの3部門です。昨年は各部門で自動化のお引き合いを頂きました。ロボット推進室の開設をきっかけに京二の商品を幅広く認知していただき始めたと感じると共に、人手不足が深刻なものになっているのだと実感しています。

本年も皆様のお困りごとを解決するために取り組んでいく所存です。本年も宜しくお祈りいたします。